

平成29年度子ども・子育て支援事業計画調査票

整理番号	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課1	担当課2	担当課3	評価	平成29年度実績 (取組内容)	評価	今後の方針性 及び課題等
	基本目標1										
1-(1)-①1	子どもの人権の尊重と安全・安心な環境づくり	(1) 子どもの人権の尊重	① 子どもの人権に関する意識啓発	「子どもの権利条約」や人権についての啓発	人権推進課			A	子どもの権利条約に特化してはいないが、木津川市人権啓発研修会・講演会講師料助成金交付要綱に基づき、市内各小中学校及び各幼稚園・保育園に対し、人権講演会等の講師料の助成を行い、子どもの人権に関する意識啓発を図っている。助成金交付実績：19件、390千円。参加者数合計3,001人。	2	引き続き、市内の校・園等に対する人権講演会講師料助成を行い、人権問題についての啓発を推進していく。
1-(1)-①2				② 子どもの人権問題に関する啓発	人権推進課			A	前述のとおり、人権講演会などの助成を行い。子どもの人権問題に関する啓発を図っている。助成交付実績も前述のとおり。「子どもの人権問題」に関するテーマに限定すれば、実施件数15件、参加者数1,837人。	2	引き続き、市内の校・園等に対する人権講演会講師料助成を行い、子どもの人権問題に関する啓発を推進していく。
1-(1)-②1		② 子どもに対する人権尊重の意識づくり		② 子どもに対する人権尊重の意識づくり	人権感覚を育む保育・教育の推進	学校教育課		A	人権教育の充実を図るため、教職員を対象にした研修会を実施した。	2	継続して人権教育を推進する。
1-(1)-②1		② 子どもに対する人権尊重の意識づくり		② 子どもに対する人権尊重の意識づくり	人権感覚を育む保育・教育の推進		こども宝課	A	人権保育の充実を図るための研修を行い、子どもに配慮した保育計画を策定し実施した。保育士人権学習会及び研修会に参加した。	2	子どもの人権を尊重した保育を推進する。自尊感情を高め、命の大切さや互いを認めあうような人権保育を推進する。
1-(1)-②2					② 共生の態度の育成	学校教育課		A	各学校において、人権教育・道徳教育を進めている。	2	継続して推進する。

整理番号	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課1	担当課2	担当課3	評価	平成29年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性 及び課題等
1-(1)-②3				幼稚園、保育所、認定こども園、学校、関係機関との連携による人権教育の推進	人権推進課			A	前述のとおり、各校・園に対し人権講演会等の講師料の助成を行っている。助成金交付実績も前述のとおり。また、市内各校・園長で構成された人権指導者連絡会にて、各教育現場において女性に対する暴力を許さない環境づくり、そして更なるDVへの理解を深めることを目的としてデートDV講座を実施した。	2	引き続き、市内の校・園等に対する人権講演会講師料助成やデートDV防止研修などを行うなど、各校園等と連携しながら人権教育・啓発を推進していく。
1-(1)-③				幼稚園、保育所、認定こども園、学校、関係機関との連携による人権教育の推進		学校教育課		A	木津川市人権教育研究会を定期的に実施	2	継続して推進していく
1-(1)-③1			③ 子どもに関する相談・支援体制の充実	学校での生徒指導や教育相談の充実	学校教育課			A	各学校での教員による指導・相談に加え、カウンセラーや教育相談員による相談等も実施した。	2	継続して、相談体制の充実を図る。
1-(1)-③2				小学校へのスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置の検討	学校教育課			A	全ての小中学校にスクールカウンセラーの配置を完了している。29年度は市費によるスクールカウンセラーの配置に加え、府費による巡回を活用し全小学校に年間13回の派遣を行った。	2	継続して相談体制の充実を図る。
1-(1)-③3				適応指導教室の充実	学校教育課			A	26年度から指導員を1日4人から5人体制とし、継続して指導を行った。	2	現状の体制を維持し、指導を行う。
1-(1)-③4				心の教育相談員やカウンセリングルームの充実	学校教育課			A	3中学校にそれぞれ1名の教育相談員を配置するとともに、週2回カウンセリングルームを開設した。	2	継続して相談体制の充実を図る。

整理番号	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課1	担当課2	担当課3	評価	平成29年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性 及び課題等
1-(1)-③5				民生委員・児童委員等関係団体等との連携強化	社会福祉課			A	生活保護等における行政の協力機関であり、住民の最も身近な相談相手として人権に関わる問題に接する機会も多いため、全民生児童委員を対象として毎年人権啓発研修を実施している。(府主催) 平成29年度実績 10/11「ひきこもりその支援を知る」191名 (市101名)	2	引き続き研修等を通して、子どもの人権に関する啓発を行う機会を作り、相談・支援体制を充実させていきます。
1-(2)-①1	(2) 児童虐待の防止	① 子どもの虐待防止と対応の充実		市民に対する児童虐待に関する意識啓発と通報窓口の周知	こども宝課			A	11月の児童虐待月間に京都府と警察と合同で啓発を実施(木津駅前)	2	継続
1-(2)-①2				育児のハイリスク者等の早期発見・早期介入	健康推進課			A	医療機関等と連携し、育児不安や何らかのリスクがある妊産婦の情報交換を行い、早期に対応した。 母子健康手帳の交付時のアンケート内容を充実し、専門職が面接を行うようにした。 子育て世代包括支援センターを開設し、支援体制の強化を図った。	2	継続・維持
1-(2)-①2				育児のハイリスク者等の早期発見・早期介入	こども宝課			A	関係機関との連携により支援を実施	2	継続
1-(2)-①3				民生委員・児童委員等関係団体等との連携強化	社会福祉課			A	木津民児協では親子交流事業「たのしいひろば」にて虐待防止啓発グッズを配布している。 また、各地域民児協では、乳児前期健康診査の際に啓発グッズの配布をおこなっている。	2	引き続き民生児童委員活動を通じた虐待防止への取り組みを行います。

整理番号	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課1	担当課2	担当課3	評価	平成29年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性 及び課題等
1-(2)-①4	(3) 安全な環境づくり			要保護児童対策地域協議会の開催の充実	こども宝課			A	代表者会議 年2回 実務者会議 年6回 ケース会議 70回	2	継続
1-(2)-①5				DVに関係した子どもの虐待の防止と対応	こども宝課			A	関係機関との連携により支援を実施した。	2	継続
1-(3)-①1		① 交通安全対策の推進		登下校の安全を見守るボランティアの活動支援	学校教育課			A	安心して活動していただけるよう、ボランティア保険への加入と資材の提供を行った。	2	継続してボランティア活動の支援を行う。
1-(3)-①2				木津川市通学路安全推進会議による通学路の安全確保	学校教育課			A	関係機関が集まり、通学路の安全確保について協議を行い、対策を講じた。	2	継続して関係機関と連携し、協議を行う。
1-(3)-①3				ドライバーに対する安全運転等の呼びかけ	総務課			A	自動車運転手に対して、広報紙や街頭啓発によりシートベルトやチャイルドシートの着用の注意喚起を行った。 6月30日、3月1日	2	今後も広報誌への掲載及び街頭啓発活動を実施することで、引き続き交通安全の推進を図る。
1-(3)-①4				自転車の走行マナーについての市民に対する啓発	総務課			A	自転車利用者に対して、平成30年4月から保険の加入が義務化(府制度)されるに伴い、広報紙や街頭啓発により周知を行った。 5月19日、7月21日、9月21日、10月25日、12月11日、	2	今後も広報誌への掲載及び街頭啓発活動を実施することで、引き続き交通安全の推進を図る。
1-(3)-①5				子どもに対する交通安全教育の推進	学校教育課			A	各学校において、交通安全教室を開催した。	2	継続して交通安全教室を推進していく。
1-(3)-①5				子どもに対する交通安全教育の推進		こども宝課		A	保育所・児童クラブで実施	2	継続
1-(3)-①6				自転車通学安全補助金(ヘルメット購入補助金)の支給	学校教育課			A	自転車通学の生徒に通学用ヘルメット購入補助金を交付した。	2	自転車通学生徒の安全のため引き続き補助を行う。

整理番号	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課1	担当課2	担当課3	評価	平成29年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性 及び課題等
1-(3)-①7				交通遺児奨学金窓口	こども宝課			A	遺児福祉手当(義務教育終了前の遺児を養育する保護者)33人月額2千円を支給した。	2	継続
1-(3)-②1			② 防犯対策の推進	教職員の防犯意識向上のための研修会の実施	学校教育課			A	教職員の防犯意識向上のために市教委主催の研修会を実施した。	2	防犯意識向上のため、引き続き研修会を実施していく。
1-(3)-②2				子どもの防犯意識向上のための訓練等の定期的な実施	学校教育課			A	子どもの防犯意識向上のため、各学校において防犯訓練を実施した。	2	防犯意識向上のため、引き続き訓練を実施する。
1-(3)-②3				危機対応能力を身につける安全教育の実施	学校教育課			A	不審者侵入を想定した防犯訓練を実施した。	2	危機対応能力を身につけるため、引き続き訓練を実施する。
1-(3)-②4				地域実態に応じた学校安全マップの作成・活用	学校教育課			A	一部の学校で、児童・保護者と地域の方が一緒に安全マップを作成。	1	学校安全マップの作成・活用を促す。
1-(3)-②5				「子ども110番のいえ」の設置の促進	学校教育課			A	警察署が地域住民・関係機関等の協力を得て、「子ども110番の家」を設地している。地域全体で子どもの安全と安心を守っている。	2	子どもたちを犯罪から守るため、引き続き地域の協力を得る。
1-(3)-②6				青色パトロール事業の推進	学校教育課			A	登下校中の子どもの安全を守るために、青色パトロールを実施。	2	子どもの安全を守るために、引き続き青色パトロールを実施する。
1-(3)-②6				青色パトロール事業の推進		危機管理課		A	・パトロールを実施した。	2	児童・生徒の見守り活動として、市内全域の青色パトロールを継続する。
1-(3)-②7				小学校入学時の防犯ブザーの配付	学校教育課			A	小学校入学時に防犯ブザーを配布し、使い方を指導した。	2	子どもの安全のため、継続して防犯ブザーの配布を行う。
1-(3)-②8				登下校の安全を見守るボランティアの活動支援(再掲)	学校教育課			A	安心して活動していただけるよう、ボランティア保険への加入と資材の提供を行った。	2	継続してボランティア活動の支援を行う。

整理番号	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課1	担当課2	担当課3	評価	平成29年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性 及び課題等
1-(3)-②9	③ 防災対策の推進			木津川市通学路安全推進会議による通学路の安全確保(再掲)	学校教育課			A	関係機関が集まり、通学路の安全確保について協議を行い、対策を講じた。	2	継続して関係機関と連携し、協議を行う。
1-(3)-②10				京都府警防災・防犯情報メールを活用した子ども安全対策の推進	学校教育課			A	京都府警防災・防犯情報メールを活用するよう、学校へ通知した。	2	引き続き、京都府警防災・防犯情報メールの活用を促進する。
1-(3)-②10				京都府警防災・防犯情報メールを活用した子ども安全対策の推進	危機管理課			A	・市ホームページ等を活用し、防災・防犯情報の掲載及び啓発を行った。 ・市内各小学校区の通学路に防犯カメラ30基を設置した。(H28年10月末完了)	2	・京都府と連携した安全・安心まちづくりを推進するため、防災・防犯情報の共有と市民への情報提供及び啓発を推進する。 ・市内4箇所に防犯カメラを設置する。(危険個所から4箇所を選定)
1-(3)-③1		③ 防災対策の推進		危機管理マニュアルの作成と危機管理体制の整備	学校教育課			A	各学校のいて危機管理マニュアルを作成し、危機管理体制の整備を行った。	2	少なくとも年1回、危機管理マニュアル及び危機管理体制の見直しを図る。
1-(3)-③1				危機管理マニュアルの作成と危機管理体制の整備		こども宝課		A	保育所・放課後児童クラブにおいて作成済。	1	マニュアルの内容を精査し、危機管理体制の徹底を図る。
1-(3)-③2				教職員の防災意識向上のための研修会の実施	学校教育課			A	教職員の防災意識向上のために市教委主催の研修会を実施した。	2	防災意識向上のため引き続き研修会を実施していく。
1-(3)-③3				学校等における避難訓練等防災教育の実施	学校教育課			A	防災意識向上のため、各学校において、批量訓練を実施した。	2	防災意識向上のため引き続き避難訓練を実施していく。
1-(3)-③3				学校等における避難訓練等防災教育の実施		こども宝課		A	保育所において毎月実施	2	継続

整理番号	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課1	担当課2	担当課3	評価	平成29年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性 及び課題等
1-(3)-③4				I 地域における防災活動の促進	危機管理課			A	・自主防災組織との連携強化、並びに組織設立の促進を図った。 ・自主防災組織が実施する訓練や研修への参加並びに助成を行った。 ・木津川市防災訓練を実施した。	2	・自主防災組織との連携強化、並びに組織設立の促進を図る。(2組織の設立を目指す) ・自社防災組織が実施する訓練や研修への参加並びに助成を行う。 ・木津川市防災訓練を実施する。
1-(3)-③5				I 避難行動要支援者名簿の整備による災害時の安否確認体制の推進	社会福祉課			A	名簿を整理、また、通常時から名簿情報を関係機関（地域の支援ネットワーク）と共有できるよう、対象者に対し、情報提供に係る同意を得るよう努めている。	2	災害時や災害後の安否確認体制については、地域の支援ネットワーク体制等においてまだ不十分であるため、防災部局との連携を深め、更なる体制整備へ向け取り組みたいと考えています。

整理番号	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課1	担当課2	担当課3	評価	平成29年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性 及び課題等
	基本目標2										
2-(1)-①1	子どもが心豊かにたくましく育つ環境づくり	(1)次代の親の育成 ① 子育てへの関心の喚起	① 中学校における保育実習等乳幼児とのふれあい体験の充実	中学校における保育実習等乳幼児とのふれあい体験の充実	学校教育課			A	家庭科の学習の中で保育実習を実施した。	2	継続して保育実習を通じて、乳幼児とのふれあい体験の充実を図る。
2-(1)-①1											
2-(1)-①2		② 有害環境対策や非行等問題行動への対応の推進	② 青少年関係団体との連携による有害環境の浄化	青少年関係団体との連携による有害環境の浄化	社会教育課			A	夜間パトロールの実施(年間12回) 覚せい剤等乱用防止に係る街頭啓発(6/14)	2	青少年非行防止に係る啓発を継続する。
2-(1)-②1											
2-(1)-②2		③ 社会の一員として持つべき規範意識やコミュニケーション能力の育成	③ 社会の一員として持つべき規範意識やコミュニケーション能力の育成	社会の一員として持つべき規範意識やコミュニケーション能力の育成	学校教育課			A	各学校で情報モラルについての講演会等を行った。	1	市内のすべての学校へ活動を広げるよう促進する。
2-(1)-②3											

整理番号	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課1	担当課2	担当課3	評価	平成29年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性 及び課題等
2-(1)-②3				携帯電話やスマートフォン等の安全な使い方の啓発やモラル等適切な指導		社会教育課		A	青少年の健全な育成に関する条例に基づく一斉立入調査において携帯電話取扱店にフィルタリングサービスに係る情報提供状況を調査・啓発を行った。	2	青少年非行防止に係る啓発を継続する。
2-(1)-②4				メディアを上手に活用できる力の育成教育の推進	学校教育課			A	すべての小中学校でICT機器を活用し、情報活用に係る教育を実施してきた。	2	継続して取り組み、メディアを活用できる力の育成に努める。
2-(1)-②4				メディアを上手に活用できる力の育成教育の推進		社会教育課		A	高校生が講師となり小学生を対象に「わくわくパソコン教室」を実施した。(10/15)	2	引き続き実施する。
2-(1)-②5				青少年の犯罪防止のための保護司会との連携	社会教育課			C	未着手	2	青少年育成委員会、保護司会との連携を図る。
2-(1)-②5				青少年の犯罪防止のための保護司会との連携		社会福祉課		A	青少年の更生保護に関する相談・支援(更生保護サポートセンター)や研修会の実施(H29.11.6学校との連携にかかる研究協議会)	2	今後も保護司会と連携し、青少年の更生保護の相談支援の実施や研修会を実施継続。
2-(1)-②6				生徒指導の推進	学校教育課			A	各学校において生徒指導の推進に取り組んだ。	2	引き続き、すべての学校において生徒指導の推進に取り組んでいく。
2-(2)-①1		(2) 心豊かにたくましい人を育てる教育環境の整備	① 教育・保育内容の充実	人格形成の基礎を培う幼児教育の充実	学校教育課			A	体力・豊かな情操・道徳の芽生えを培うよう、幼児教育に取り組んだ。	2	継続して幼児教育の充実を推進する。
2-(2)-①1				人格形成の基礎を培う幼児教育の充実		こども宝課		A	一人ひとりを大切にした保育を進める中で、自尊感情を育て、人に対する信頼関係を深める保育を進める。 ○生活習慣の確立 ○世代間交流 ○異年齢交流	2	継続
2-(2)-①2				保幼小連携教育の推進	学校教育課			A	保育園・幼稚園との交流を通した連携事業を実施した。	2	引き続き、保幼小連携教育を推進する。

整理番号	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課1	担当課2	担当課3	評価	平成29年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性 及び課題等
2-(2)-①2				保幼小連携教育の推進		こども宝課		A	保育園、幼稚園との交流を通した連携事業を実施した。	2	継続して実施
2-(2)-①3				きづがわっ子生活カリキュラム(ベーシック木津川版)の策定	学校教育課			A	各学校において、家庭学習の手引書等を作成し、活用・指導を実施している。	2	継続して取組を推進する。
2-(2)-①4				保護者の就労の有無にかかわらず、幼稚園及び保育所において、同レベルの質の高い教育・保育の提供体制の確保	学校教育課			A	認定こども園所管課と連携をとり、事務を進めた。	2	継続して取り組む。
2-(2)-①4				保護者の就労の有無にかかわらず、幼稚園及び保育所において、同レベルの質の高い教育・保育の提供体制の確保		こども宝課		A	職員研修の実施等、幼保連携型認定こども園、保育所で質の高い教育・保育の提供体制の強化に努めた。	2	認定こども園で継続して質の高い教育・保育の実施
2-(2)-①5				認定こども園の設置に向けた関係課との連携	こども宝課			A	幼保連携型こども園の開設、保育所からの移行に向けた協議の実施	1	さらに連携して進める。
2-(2)-①5				認定こども園の設置に向けた関係課との連携		学校教育課		A	認定こども園所管課と連携をとり、事務を進めた。	1	さらに連携して進める。
2-(2)-①6				多様な教育・保育ニーズに柔軟に対応できるよう、保育所の民営化への取組	こども宝課			A	梅美台保育園の完全民営化の実施。公立保育所民営化等実施計画の策定。	2	公立保育所の民営化等実施計画策定後計画の実行
2-(2)-①7				就学前の多様な教育・保育ニーズに対しては、公営に比べ民間運営の方が柔軟で早期の対応が可能であると考えられることから、民間活力の活用を図る	学校教育課			A	認定こども園所管課と連携をとり、事務を進めた。	2	継続して取り組む。
2-(2)-①7				就学前の多様な教育・保育ニーズに対しては、公営に比べ民間運営の方が柔軟で早期の対応が可能であると考えられることから、民間活力の活用を図る		こども宝課		A	梅美台保育園の完全民営化の実施。公立保育所民営化等実施計画の策定。	2	公立保育所の民営化等実施計画策定後計画の実行

整理番号	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課1	担当課2	担当課3	評価	平成29年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性 及び課題等
2-(2)-①8	② 学校教育内容の充実			就学前から読書に親しむ活動の推進	学校教育課			A	第二次木津川市子どもの読書活動推進計画に基づき、それぞれの機関において活動を実施した。	2	第二次木津川市子どもの読書活動推進計画に基づき、引き続き活動を実施する。
2-(2)-①8				就学前から読書に親しむ活動の推進		こども宝課		A	保育所等での読み聞かせ等の実施	2	継続
2-(2)-①9				地域との連携の推進	学校教育課			A	学校評議員として地域の方々に学校運営に参画していただいているほか、あいさつ運動などを通じて地域との連携を推進した。	2	引き続き、地域との連携を推進する。
2-(2)-①9				地域との連携の推進		こども宝課		A	園児と高齢者との交流、地区主任児童委員との連携	2	継続して実施
2-(2)-②1			② 学校教育内容の充実	学習意欲の向上と学習習慣の確立	学校教育課			A	補充学習による学習意欲の向上や、家庭と連携した低学年からの学習習慣の確立を推進した。	2	継続して学習意欲の向上と学習習慣の確立に取り組む。
2-(2)-②2				基礎的・基本的な知識・技能の習得	学校教育課			A	補充学習やICTを活用し、基礎的・基本的な知識・技能の習得に努めた。	2	引き続き補充学習やICTを活用し基礎的・基本的な知識・技能の向上を図る。
2-(2)-②3				活用する力の育成	学校教育課			A	研究指定校事業やアクティブラーニングの手法により、活用する力の育成を図った。	2	引き続き授業を工夫することにより、活用する力の育成を図る。
2-(2)-②4				道徳教育の推進	学校教育課			A	市道徳教育研究会を中心に指導方法の工夫改善を行い、道徳教育の推進を図った。	2	30年度、中学校で教科化されるため、引き続き市道徳教育研究会を中心に指導方法の工夫改善を行い道徳教育の推進を図っていく。
2-(2)-②5				読書活動の推進	学校教育課			A	各小中学校や幼稚園等において読書活動の推進に取り組んだ	2	今後も木津川市読書活動推進計画に基づき、それぞれの組織において推進の取組を実施する。

整理番号	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課1	担当課2	担当課3	評価	平成29年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性 及び課題等
2-(2)-②6				キャリア教育の推進	学校教育課			A	小学校では農業や福祉などの職業体験、中学校では職場体験と発達の段階に応じたキャリア教育を行った。	2	引き続き発達の段階に応じた系統的な記キャリア教育を推進していく。
2-(2)-②7				情報教育の推進	学校教育課			A	ICT機器の整備を進め、これらを活用した情報教育を推進できた。	2	ひきつづき、情報教育を推進していく。
2-(2)-②8				国際理解教育の推進	学校教育課			A	外国人ゲストを招いた授業等を通じて国際理解教育を推進した。	2	引き続き、国際理解教育を推進していく。
2-(2)-②9				環境教育の推進	学校教育課			A	各学校において環境学習に取り組んだ。	2	引き続き、環境教育を推進していく。
2-(2)-②10				学校の組織力と教職員の資質向上	学校教育課			A	教職員研究等を実施し、学校の組織力と教職員の資質向上を図った。	2	教職員研修等を充実し、学校の組織力と教職員の資質向上に努める。
2-(2)-②11				魅力ある学校づくり	学校教育課			A	それぞれの学校の状況に応じた教育の推進を図るため「特色ある学校づくり推進事業」を実施した。	2	引き続き、魅力ある学校づくりを推進していく。
2-(2)-③1		③ 教育・保育施設・設備の整備・充実		幼稚園、保育所の施設・設備の整備・充実	学校教育課			A	非構造部材の耐震。(恭仁小)	2	安全を確保できるように、適宜、修繕を実施
2-(2)-③1				幼稚園、保育所の施設・設備の整備・充実		こども宝課		A	老朽化した施設の修繕工事等の実施。	2	継続
2-(2)-③2				小・中学校の施設・設備の整備・充実	学校教育課			A	受電設備の改修を行った。	2	安全を確保できるように、適宜、修繕を実施

整理番号	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課1	担当課2	担当課3	評価	平成29年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性 及び課題等
2-(2)-③3	(3) 家庭や地域の教 育力の向上			学校の情報化や図書・教材の整備など教育環境の充 実	学校教育課			A	ICT機器や図書システムの整備など教育環境の充実を図った。	2	引き続きより良い教 育環境の整備を図つ ていく。
2-(3)-①1		① 家庭の子育て力 の向上	① 家庭の子育て力 の向上	地域の幼児教育センター的役割を果たすための人的・ 物的教育機能や施設の開放	学校教育課			A	公立幼稚園において、 親子で参加できる事業 を実施。	2	継続して事業を実施 する。
2-(3)-①2				親のための応援塾、もうすぐ1年生体験入学推進事業 の活用	学校教育課			A	すべての小学校で体験 入学等を実施し、小1プ ロブレムと保護者の不 安の解消を図った。	2	継続して、体験入学 等を実施する。
2-(3)-①2				親のための応援塾、もうすぐ1年生体験入学推進事業 の活用		社会教育課		C	取組なし	4	平成25年度までは小 学校から事業報告書 を受け府へ提出して いた。
2-(3)-①3				親の子育てに対する相談・サポート体制の充実		健康推進課		A	各健診・乳幼児相談等 を実施するとともに、随 時、来所・電話・家庭訪 問を行った。 29年1月から子育て世 代包括支援センターを開 設し、相談機能の充 実を図った。	2	継続・維持
2-(3)-①3				親の子育てに対する相談・サポート体制の充実		こども宝課		A	地域子育て支援セン ターでの電話相談、來 所相談の実施。	2	引き続き実施する。
2-(3)-①4				保護者の学びの支援(子育て講座、男女共同子育て講 座、父親教室等)	こども宝課			A	保護者支援のための研 修の実施	2	継続
2-(3)-①5				ブックスタート	健康推進課			A	乳児後期健診時にボラ ンティアの協力を得て、 絵本の読み聞かせを行 い、絵本を681冊配布し た。	2	継続・維持
2-(3)-①6				親子でおもちゃで遊べる場づくり		社会福祉課		A	社会福祉協議会主催 のおもちゃの図書館 では、おもちゃの貸 し出しを行ってい る。	2	今後も様々な事業を 通して、親子が触れ 合える場を作ります。
2-(3)-②1		② 地域人材の育 成・活用	② 地域人材の育 成・活用	木津川市地域で支える学校教育推進事業	社会教育課			A	小中学校からの支援要 望に基づき5中学校区 で支援事業を実施。	2	支援事業の充実に向 けコーディネーターの 育成、ボランティアの 確保が課題である。

整理番号	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課1	担当課2	担当課3	評価	平成29年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性 及び課題等
2-(3)-②2	(4) 多様な体験機会の充実			木津川市子どもはぐくみ人材バンク	学校教育課			A	学校支援地域本部事業として、中学校区ごとのものを作成し、活用している。	2	継続して、事業を実施する。
2-(3)-③				老人クラブ活動等地域団体による子育て支援活動の支援	高齢介護課			A	年間を通じ、登下校時の子どもの安全確保を行う見守り活動を展開し、不審者等からの安全確保及び交通事故防止を図るとともに、老人クラブの基盤強化と活性化を図った。 加茂支部役員200人/年	2	登下校時の子どもの安全確保を行う見守り活動を今後も継続して行い、地域の支え合いによる安心・安全なまちづくりを展開する。
2-(4)-①1			① 多様な体験・交流機会の充実	子どもの安全な居場所づくりや心身の健全な育成を図る児童館活動の内容の充実	社会教育課			A	小学校区(木津・相楽台・高の原・南加茂台・棚倉)、南加茂台公民館を拠点に家庭・地域・学校・行政が連携し、地域の大人の見守りの中、自由に遊べ、学べる場所を提供した。	1	子どもたちに安心・安全な遊び場を提供し、多様な学習や体験の機会を与えるために多くの方の支援が必要である。また、木津川市子ども・子育て支援事業計画に基づき、一体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室を全ての小学校における整備を推進する。当事業計画における当面の目標として、平成31年度までに50%整備することを目指す。
2-(4)-①1				子どもの安全な居場所づくりや心身の健全な育成を図る児童館活動の内容の充実		こども宝課		A	児童館との交流の実施。	2	引き続き実施する。
2-(4)-①2				多様な交流と学びの機会などを提供する公民館事業の推進	社会教育課			A	ふれあいの集い6/12、サークル体験デー11/12 公民館まつり3/3~4	2	公民館事業の内容充実、参加団体の集客活動強化を図る。
2-(4)-①3				スポーツ・レクリエーション活動の推進	社会教育課			A	スポーツ推進委員と連携して各種事業を実施。	2	内容充実、集客活動強化を図る。

整理番号	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課1	担当課2	担当課3	評価	平成29年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性 及び課題等
2-(4)-①4				地域の文化財を学ぶ機会の充実	文化財保護課			A	木津小学校6年生を対象とした、江戸時代寺院建築の修理現場の見学会を実施し、6年生児童87名の児童が文化財を目の前にして文化財修理をしている人の話を直接聞いた。このほか、棚倉小学校(5年生56名)、上狹小学校(3年生25名)で出前授業を実施。	2	多くの文化財に恵まれた木津川市の児童・生徒に自分たちの住む街のすばらしさを伝え、文化財を通じて豊かな心を育む機会を提供したい。引き続き学校に呼びかけていく。
2-(4)-①5				社会科副読本の充実と活用	学校教育課			A	市立小学校の教職員で作成した社会科副読本「わたしたちの木津川市」を地域学習に活用した。	2	社会科副読本の改定等充実を図っていく。
2-(4)-①6				フィールド学習の推進	学校教育課			A	市内の施設や文化財などを直接見て体験するフィールド学習を実施した。	2	引き続きフィールド学習を推進する。
2-(4)-①7				芸術演劇鑑賞事業の活用	学校教育課			A	本物の文化・芸術に触れる機会を持つため芸術演劇鑑賞を行った。	2	引き続き文化・芸術活動を推進するため、芸術演劇鑑賞を実施する。
2-(4)-①8				市内文化施設の積極的な活用	社会教育課			A	各種催しの開催や文化振興事業として各種文化教室を実施。	2	市民の文化活動の拠点となる施設であり、利用者が安心・安全に施設を利用できるよう施設・設備の更新が必要となっている。
2-(4)-①9				地域体験活動事業の推進	学校教育課			A	市内の施設や文化財などを直接見て体験する地域体験活動を実施した。	2	引き続き地域体験活動を推進する。
2-(4)-①0				子どもの知的好奇心の醸成を図る取組の展開	学校教育課			A	子どもの知的好奇心醸成事業を実施した。	2	引き続き子どもの知的好奇心の醸成を図っていく。

整理番号	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課1	担当課2	担当課3	評価	平成29年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性 及び課題等
2-(4)-①11				図書館における子育て支援	社会教育課			A	各館においておはなし会・絵本の読み聞かせ他、各種催しや講座を開催。新小学1年生に図書館スタートセットの配布。健康推進課におけるブックスタート事業へ絵本リスト提供協力。	2	各事業は概ね好評をいただいているが、図書に関する催しの充実等、更に効率的な事業の実施の検討が必要である。
2-(4)-①12				放課後子ども総合プランの推進	社会教育課			A	小学校区(木津・相楽台・高の原・南加茂台・棚倉)、南加茂台公民館を拠点に家庭・地域・学校・行政が連携し、地域の大人の見守りの中、自由に遊べ、学べる場所を提供した。	1	子どもたちに安心・安全な遊び場を提供し、多様な学習や体験の機会を与えるために多くの方の支援が必要である。また、木津川市子ども・子育て支援事業計画に基づき、一体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室を全ての小学校における整備を推進する。当事業計画における当面の目標として、平成31年度までに50%整備することを目指す。
2-(4)-①13				子どもの意見表明の機会づくり	学校教育課			A	少年の主張大会や校内での発表会など子どもの意思表明の機会づくりを行った。	2	引き続き子どもの意識表明の機会づくりを行っていく。
2-(4)-①13				子どもの意見表明の機会づくり	社会教育課			A	毎年、小学生・中学生による少年の主張大会を実施(11/3)また、市の大会において成績上位者は相楽少年の主張大会に出場(2/19)。	2	引き続き事業を実施する。
2-(4)-②1		② 次代を担う若者の自立の支援		「KYO発見 仕事・文化体験活動推進事業」等の活用	学校教育課			A	事業を活用し、各小中学校にて仕事体験等を実施した。	2	引き続き事業を活用し、仕事体験等を行う。

整理番号	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課1	担当課2	担当課3	評価	平成29年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性 及び課題等
2-(4)-②2				① 発達の段階に応じた系統的なキャリア教育の推進	学校教育課			A	小学校では農業や福祉などの職業体験、中学校では職場体験と発達の段階に応じたキャリア教育を行った。	2	引き続き発達の段階に応じた系統的なキャリア教育を推進していく。
2-(4)-②3				② 大学や近隣企業等と連携した取組の推進	学校教育課			A	一部の学校で大学や近隣企業等と連携した取り組みを実施した。	2	大学や近隣企業等と連携した取り組みを他の学校へも広げていく。
2-(4)-②4				③ 進路指導相談体制の充実	学校教育課			A	各学校において、また教育支援委員会等を通じて進路指導相談体制の充実を図った。	2	引き続き進路指導相談体制の充実を図っていく。
2-(4)-②5				④ 「京都ジョブパーク」や「京都わかものハローワーク」の周知と、京都府と連携した若者や障害のある若者に対する就職支援	社会福祉課			A	障害者いきいきサポート窓口を設置し、障害のある若者等の就職相談を実施。	2	引き続き障害者いきいきサポート窓口を設置して就職支援を実施し、必要に応じて京都府と連携する。

整理番号	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課1	担当課2	担当課3	評価	平成29年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性 及び課題等
	基本目標3										
3-(1)-①1	安心して子どもを産み、育てることができる環境づくり	(1) 親と子の健康の確保	① 妊産婦保健対策の充実	母子健康手帳・マタニティマークの交付	健康推進課			A	妊娠届出者数 745人(転入含)	2	継続・維持
3-(1)-①2				妊婦健康診査受診券の交付	健康推進課			A	妊娠健康診査受診者数 7,640人	2	継続・維持
3-(1)-①3				マタニティ広場の推進	健康推進課			A	マタニティ広場の妊婦受講者は 103人(延べ 162人)、妊娠届出者のうち、15.5%が受講している。	2	継続・維持
3-(1)-①4				乳幼児健康診査の受診促進	健康推進課			A	対象者に個別通知を行っている。また、欠席者には、翌月に再受診の機会を設けている。	2	継続・維持
3-(1)-①5				乳幼児健康診査未受診者への対策強化	健康推進課			A	健診未受診児は、電話・家庭訪問により、子どもの様子を把握している。	2	継続・維持
3-(1)-①6				乳幼児健康相談	健康推進課			A	対象者に個別通知を行っている。また、欠席者には、翌月に再受診の機会を設けている。 (受診率) 乳児前期健診:99.4% 乳児後期健診:93.7% 幼児健診:95.2% 幼児歯科健診:92.6% 3歳児健診:93.4%	2	継続・維持
3-(1)-①7				乳児家庭全戸訪問事業	健康推進課			A	家庭訪問 607件/632件 約96.0%	2	継続・維持
3-(1)-①8				不妊治療給付事業	健康推進課			A	不妊・不育治療の助成を実施した。	2	継続・維持
3-(1)-①9				予防接種	健康推進課			A	各種予防接種の実施。 乳児全戸訪問時、予診表を配布している。	2	継続・維持
3-(1)-①10				出産育児一時金	国保年金課			A	出生届の際に対象者全員に個別通知した。	2	継続実施

整理番号	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課1	担当課2	担当課3	評価	平成29年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性 及び課題等
3-(1)-②1	② 保護者の健康の保持・増進の推進		② 保護者の健康の保持・増進の推進	子宮がん・乳がん検診の受診の促進	健康推進課			A	子宮頸がん・乳がん検診の個別通知を行い、幼児歯科健診時に、母親に乳がん検診に関する案内を渡している。	2	継続・維持
3-(1)-②2				がん検診の受診促進	健康推進課			A	対象者全員に個別通知を行った。	2	継続・維持
3-(1)-②3				特定健診・特定保健指導の受診促進	健康推進課			A	個人通知により指導への意識を高めるとともに、電話連絡により生活習慣病予防の重要性を伝え指導につなげる。	2	特定保健指導の受診案内を結果送付時に同封し国保年金課から送付する。
3-(1)-②3				特定健診・特定保健指導の受診促進		国保年金課		A	生活習慣病予防に着目し健康診査・特定保健指導を実施した。	2	継続実施
3-(1)-②4				健康づくりや生活習慣病予防の意識啓発	健康推進課			A	食生活改善推進員による望ましいバランス食の普及、特定保健指導時に生活習慣改善の意識の向上、健やか木津川21プランに基づく健康づくり事業等により意識付けを行う。	2	継続・維持
3-(1)-②4				健康づくりや生活習慣病予防の意識啓発		国保年金課		A	健康イベント等を通じ、生活習慣病予防の意識啓発を実施した。	2	継続実施
3-(1)-③1			③ 医療体制の充実	かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局の普及	健康推進課			A	各健診・相談時に勧奨。	2	継続・維持
3-(1)-③2				小児医療体制の充実	健康推進課			A	相楽休日応急診療所継続開設	2	継続・維持
3-(1)-③3				小児救急電話相談番号の周知	健康推進課			A	乳児全戸訪問時に説明している。	2	継続・維持
3-(1)-③4				相楽休日応急診療所についての周知	健康推進課			A	広報・市ホームページに掲載。乳児全戸訪問事業にて説明している。	2	継続・維持

整理番号	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課1	担当課2	担当課3	評価	平成29年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性 及び課題等
3-(2)-①1	(2) 食育や思春期保健対策の推進	① 食育の推進	① 食育の推進	離乳食講習会の充実	健康推進課			A	乳児前期健診時に管理栄養士の作った離乳食の試食をしながら、幼児食までの説明を実施している。	2	継続・維持
3-(2)-①2				幼稚園、保育所、認定こども園、学校等における食育推進事業を通した食に関する指導の充実と望ましい健全な食習慣の促進							
3-(2)-①2				幼稚園、保育所、認定こども園、学校等における食育推進事業を通した食に関する指導の充実と望ましい健全な食習慣の促進		こども宝課		A	食育だよりの発行。食育を取り入れた保育の実施	2	引き続き実施
3-(2)-②				幼稚園、保育所、認定こども園、学校等における食育推進事業を通した食に関する指導の充実と望ましい健全な食習慣の促進							
3-(2)-③				食に関する学習「5分間スタディ」の推進	学校教育課			A	「5分間スタディ」を実施し、食に関する指導の充実を図った。	2	引き続き「5分間スタディ」を活用し、食に関する指導の充実を図っていく。
3-(2)-④				栄養教諭による出前授業							
3-(2)-⑤				地元食材を使った伝統的な食文化の継承と魅力ある給食の実現に向けた地産地消の取組の推進	学校教育課			A	市内3給食センターにおいては、地元食材を取り入れた献立の作成をした。献立だよりや毎日の給食放送、掲示資料等を用いて紹介することで、地元食材への興味・関心・知識を高めるとともに郷土愛を育むことができた。	2	今後もできる限り地元食材を取り入れた献立の作成に取り組み、また周知することを続けていく。

整理番号	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課1	担当課2	担当課3	評価	平成29年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性 及び課題等
3-(2)-①5	② 学校等保健対策の充実			「地元食材を使った伝統的な食文化の継承と魅力ある給食の実現に向けた地産地消の取組の推進」		こども宝課		A	地産食材の給食への利用	2	引き続き実施
3-(2)-①6				「望ましい食文化の継承に向け、地域と家庭の連携による食育の推進」	学校教育課			A	地域や農家の方を招いた招待給食や家庭からのレシピの募集など地域や家庭と連携した食育を推進した。	2	引き続き、地域や家庭と連携した食育を推進していく。
3-(2)-①6				「望ましい食文化の継承に向け、地域と家庭の連携による食育の推進」		こども宝課		A	行事食の実施	2	引き続き実施
3-(2)-①6				「望ましい食文化の継承に向け、地域と家庭の連携による食育の推進」			健康推進課	A	食生活改善推進員による食文化の継承を目的とした料理講習会の実施	2	継続実施する
3-(2)-①7				「給食におけるアレルギー対応についてのマニュアル整備と教職員の研修の推進」	学校教育課			A	市内3給食センターの施設状況に合わせて作成したアレルギー対応事務処理要領に基づき、より効率的となるよう工夫しながら、アレルギー対応を実施した。	1	市としてアレルゲンの対応の決定や学校との連携、学校でのアレルギー対応指導についてのマニュアルを整備する。
3-(2)-①7				「給食におけるアレルギー対応についてのマニュアル整備と教職員の研修の推進」		こども宝課		A	アレルギー対応食の実施	2	引き続き実施 マニュアル整備、精査
3-(2)-②1		② 学校等保健対策の充実		「幼稚園、保育所、認定こども園、学校と家庭との連携による望ましい生活習慣・食習慣の確立に向けた保護者への啓発」	学校教育課			A	「早寝・早起き・朝ごはん」等生活習慣、食習慣の確立に向けた保護者への啓発を行った。	2	引き続き生活習慣、食習慣の確立に向けた保護者への啓発を行っていく。
3-(2)-②1				「幼稚園、保育所、認定こども園、学校と家庭との連携による望ましい生活習慣・食習慣の確立に向けた保護者への啓発」		こども宝課		A	保護者対応、個人懇談、クラス懇談、園だより、食育だより配付等により啓発	2	引き続き実施
3-(2)-②2				「「早寝、早起き、朝ごはん」キャンペーンの推進」	学校教育課			A	「早寝・早起き・朝ごはん」のため生活習慣、食習慣の確立に向けた保護者への啓発を行った。	2	引き続き「早寝・早起き・朝ごはん」を推進していく。
3-(2)-②2				「「早寝、早起き、朝ごはん」キャンペーンの推進」		こども宝課		A	保護者対応、個人懇談、クラス懇談、園だより、食育だより配付等により啓発	2	引き続き実施

整理番号	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課1	担当課2	担当課3	評価	平成29年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性 及び課題等
3-(2)-②3				学校等における健康診断や健康教育、健康相談の推進	学校教育課			A	学校保健安全法に基づく健康診断に加え、健康教育や健康相談を実施した。	2	引き続き実施する。
3-(2)-②3				学校等における健康診断や健康教育、健康相談の推進		こども宝課		A	内科、歯科、眼科、耳鼻科検診の実施、身体測定の月1回実施	2	引き続き実施
3-(2)-②4				専門機関との連携による感染症や生活習慣病の予防、性に関する教育、がん教育等の推進	学校教育課			A	専門機関から講師を招き、感染症や生活習慣病の予防やがん教育に関する講演会や授業等を行った。	2	引き続き、専門機関と連携して感染症や生活習慣病の予防、性に関する教育、がん教育等を推進する。
3-(2)-②4				専門機関との連携による感染症や生活習慣病の予防、性に関する教育、がん教育等の推進		国保年金課		A	市立中学校全校(5校)の3年生にエイズ教育講演会実施した。	2	継続実施
3-(2)-③1			③ 思春期の心身の健康の保持・増進	喫煙や飲酒、薬物乱用等の防止教育の推進	学校教育課			A	各学校において「喫煙防止」、「飲酒について」、「薬物乱用防止教室」を開催した。	2	引き続き、喫煙や飲酒、薬物乱用等の防止教育を推進する。
3-(2)-③1				喫煙や飲酒、薬物乱用等の防止教育の推進		健康推進課		A	各中学校にて喫煙防止についての講演を実施	2	継続実施
3-(2)-③2				性や生命の尊重に基づく性教育の推進	学校教育課			A	各学校において、児童生徒の発達段階に応じた性教育を実施した。	2	引き続き、生命の尊重に基づく性教育を推進する。
3-(2)-③3				食事や運動、睡眠等のバランスのとれた健康づくりの推進	学校教育課			A	体力テストや健康診断の結果から体力や健康状態について分析し、バランスのとれた健康づくりを推進した。	2	引き続き、食事や運動、睡眠等のバランスのとれた健康づくりの推進と啓発を行う。
3-(2)-③4				喫煙、飲酒、薬物乱用、性感染症等の心身に悪影響を及ぼす問題についての相談・指導の充実	学校教育課			A	養護教諭、心の教育相談員、スクールカウンセラー等による心身の問題に関する相談、指導を行った。	2	引き続き、心身に悪影響を及ぼす問題についての相談・指導の充実に努める。

整理番号	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課1	担当課2	担当課3	評価	平成29年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性 及び課題等
3-(3)-①1		(3) 援助を必要とする家庭への支援の充実	① 障害のある子どもに対する施策の充実	I 障害の早期発見(乳幼児健診、学校等における健康診断等)	健康推進課			A	乳幼児相談、健診、身体クリニックにおいて、発達等に何らかの課題のある時を専門機関につなぐ。	2	継続・維持
3-(3)-①2				I 発達相談	健康推進課			A	臨床心理士による面接を実施。発達状況のアセスメント、子どもの特性への理解と育児への助言などを行う。	2	継続・維持
3-(3)-①3				I 幼稚園・保育所巡回相談	健康推進課			A	子どものすこやかな成長を目的に集団生活での効果的な支援を行う。市内入園児幼稚園3園、保育園15園(年間54日)	2	継続実施
3-(3)-①4				I 関係機関との連携強化による適正な就園・就学指導の推進	健康推進課			A	関係機関と連携をとりながら、就園・就学に関する情報提供を行った。	2	継続・維持
3-(3)-①4				I 関係機関との連携強化による適正な就園・就学指導の推進		学校教育課		A	教育支援委員会を開催した。	2	関係機関との関係強化を推進する。
3-(3)-①5				I 医療機関との連携による教育相談、療育相談の充実	健康推進課			A	医療機関と連携し、心理士・保健師による情報提供および療育期間の紹介を実施した。	2	継続・維持
3-(3)-①5				I 医療機関との連携による教育相談、療育相談の充実		学校教育課		A	医療機関と連携し、就学相談を実施した。	2	継続して実施していく。
3-(3)-①6				I 障害福祉サービスの充実	社会福祉課			A	障がいのある児童について、障害福祉サービス(居宅介護、行動援護、短期入所)の支給を行った。	2	引き続き、必要に応じ、障害福祉サービスの支給を行う。
3-(3)-①7				I 放課後等デイサービスの充実	社会福祉課			A	療育が必要な就学児童について、放課後等デイサービスの支給を行った。	2	引き続き、必要に応じ、放課後等デイサービスの支給を行う。

整理番号	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課1	担当課2	担当課3	評価	平成29年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性 及び課題等
3-(3)-①8				Ⅰ 障害児補装具・日常生活用具給付事業の充実	社会福祉課			A	子どもを含め、補装具・日常生活用具給付事業を実施。	2	障害のある子どもの日常生活を支援するため、引き続き補装具・日常生活用具給付事業を実施する。
3-(3)-①9				Ⅰ 障害者福祉タクシー利用券交付事業	社会福祉課			A	子どもを含め、重度の在宅障害者等を対象に福祉タクシー利用券交付事業を実施。	2	引き続き、事業を実施し、障害者の外出を支援する。
3-(3)-①10				Ⅰ 個別の指導計画や教育支援計画の作成と取組	学校教育課			A	個別の指導計画や教育支援計画を作成し、個々の状況に応じた指導を充実した。	2	今後も個別の指導計画や教育支援計画を作成し、個々の状況に応じた指導を推進する。
3-(3)-①10				Ⅰ 個別の指導計画や教育支援計画の作成と取組		こども宝課		A	障害児加配の配置等支援をする児童の計画的な受入	2	引き続き実施
3-(3)-①11				Ⅰ 相談支援ファイルを活用した支援継続	社会福祉課			A	「サポートファイル きづがわ」について、主に知的障害・重度の身体障害のある児童について配布を行った。	2	引き続き、事業を実施していく。なお、京都府において「支援ファイル」を作成しており、本市の「サポートファイル」の活用方法等について、協議を進めていく。
3-(3)-①12				Ⅰ 誰にでもわかりやすく、安心して参加できる教育環境づくり	学校教育課			A	授業改革に取り組み、誰にでもわかりやすく、安心して参加できる教育環境づくりを促進した。	2	引き続き授業改善に取り組み、誰にでもわかりやすく、安心して参加できる教育環境づくりを推進する。
3-(3)-①13				Ⅰ 特別支援教育コーディネーターの役割についての検討	こども宝課			A	支援をする児童の支援、関係機関との連携	2	継続

整理番号	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課1	担当課2	担当課3	評価	平成29年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性 及び課題等
3-(3)-①14	② ひとり親家庭の総合的な自立支援の推進			木津川市特別支援教育推進委員会や地域支援センターの活用による障害のある子どもの支援	社会福祉課			A	基幹相談支援センターとして社会福祉法人いづみ福祉会に相談業務を委託し、障がいのある児童について、相談支援を行った。	2	引き続き、相談支援を実施していく。
3-(3)-①15				特別支援学校や相楽地方通級指導教室等の関係機関との連携強化と、縦・横のつながりによる障害のある子どもの支援	学校教育課			A	特別支援学校や道楽地方通級指導教室等と連携し、障害のある子どもの就学支援、教育支援を行った。	2	引き続き特別支援学校や相楽通級指導教室等と連携して、障害のある子どもの支援を行っていく。
3-(3)-①16				発達障害にかかる専門的な知識と技術を要する教職員の養成と特別教育支援員の計画的な配置	学校教育課			A	増加する発達障害のある児童生徒に対応するため、専門的な知識と技術を要する教職員の養成と特別支援教育支援員の計画的な配置に努めた。	2	引き続き、教職員の養成と特別支援教育支援員の計画的な配置に努める。
3-(3)-②1			② ひとり親家庭の総合的な自立支援の推進	高等技能訓練促進費等給付金事業	こども宝課			A	対象者6名	2	継続
3-(3)-②2				自立支援教育訓練給付金の支給	こども宝課			A	対象者なし	2	継続
3-(3)-②3				ハローワーク等との連携による事業主への雇用促進の啓発	こども宝課			A	くらしサポート課とのケースカンファレンスの実施	2	継続
3-(3)-②4				保育所優先入所の推進	こども宝課			A	利用調整基準により実施	2	継続
3-(3)-②5				子育て短期支援事業の利用促進	こども宝課			A	10名利用	2	継続
3-(3)-②6				母子・父子自立支援員による相談の推進	こども宝課			A	母子・父子自立支援員1名配置	2	継続
3-(3)-②7				経済的支援(生活保護費支給事業、母子家庭医療制度、母子家庭奨学金、児童扶養手当)	こども宝課			A		2	継続
3-(3)-②7				経済的支援(生活保護費支給事業、母子家庭医療制度、母子家庭奨学金、児童扶養手当)		くらしサポート課		A	被保護者に対し生活保護法による支援事業を実施している。	2	今後も継続実施を行う。

整理番号	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課1	担当課2	担当課3	評価	平成29年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性 及び課題等
3-(3)-②8				① 養育支援訪問事業の推進	こども宝課			A	相談員の訪問47件	2	継続
3-(3)-②9				② 生活困窮者に対する相談支援(平成27年4月1日付で施行する「生活困窮者自立支援法」に基づく相談窓口の開設)	暮らしサポート課			A	相談窓口を開設し、生活困窮者に対して相談支援を行っている。	2	今後も事業を継続して行い、画一的な対応とならないよう、相談者の課題によって柔軟に対応する。
3-(3)-③1			③ 経済的負担の軽減	③ 市内私立幼稚園保護者負担軽減補助金	学校教育課			A	市内私立幼稚園在園児保護者に対し、保育料の補助を実施。	2	引き続き、私立幼稚園児保護者の負担軽減を図る。
3-(3)-③2				④ 私立幼稚園就園奨励費補助金(子ども・子育て支援新制度に移行しない幼稚園)	学校教育課			A	私立幼稚園在園児保護者に対し、保育料等の補助を実施。	2	引き続き、私立幼稚園児保護者の負担軽減を図る。
3-(3)-③3				⑤ 育英資金交付事業	学校教育課			A	経済的な理由により、高等学校等への進学が困難な家庭に対し、援助を実施した。	2	平成29年度より新入学生徒のみを対象とした。引き続き事業を実施する。ただし、原資となる基金残額の減少により、今後の在り方を検討する必要がある。
3-(3)-③4				⑥ 就学援助事業	学校教育課			A	経済的な理由により、小・中学校の児童・生徒の保護者に対し、学用品費や給食費等の援助を実施した。	2	引き続き、援助を必要とする家庭に対し、援助を実施する。
3-(3)-③5				⑦ 子育て支援医療制度	国保年金課			A	平成27年から中学3年生まで拡充。出生や転入の際には勧奨案内を実施。	2	継続実施
3-(4)-①1	(4) 相談・情報提供体制の充実	① 子育て関連情報の提供、相談体制の充実		① 子育てガイドブックの作成	こども宝課			A	SNSを利用した子育てアプリの更新を行った。	2	継続

整理番号	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課1	担当課2	担当課3	評価	平成29年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性 及び課題等
3-(4)-①2	3-(4)-①			ホームページの充実	学校教育課			A	開かれた学校を目指し、すべての学校でホームページを開設し、学校概要や特色、行事等を公開した。	2	引き続き、ホームページの充実を図っていく。
3-(4)-①2				ホームページの充実		こども宝課		A	子育て支援サイトの更新	2	内容の更新、充実
3-(4)-①2				ホームページの充実			健康推進課	A	情報を更新	2	継続
3-(4)-①3				家庭児童相談室	こども宝課			A	家庭児童相談員2名配置(兼務)	2	継続
3-(4)-①4				乳幼児健康相談	健康推進課			A	相談率91%。木津・加茂・山城の各保健センターで実施。	2	継続実施
3-(4)-①5				発達相談	健康推進課			A	臨床心理士による面接を実施。発達状況のアセスメント、子どもの特性への理解と育児への助言を行った。	2	継続・維持
3-(4)-①6				乳児家庭全戸訪問事業	健康推進課			A	平成29年度 訪問実施率96%	2	継続実施
3-(4)-①7				DV相談	人権推進課			A	女性センターにおいて、相談員により毎週金曜日の13時～15時に実施している。ただし緊急を要する事例もあるため、実質全開館日に相談を受ける体制をとっている。(休館日の月曜日は本庁で対応)。相談内容によって、精神科医や京都府家庭支援総合センターと連携している。平成29年度のDV相談件数は23件。	2	DV相談は多様化しており、軽易なケースから相談者の生命に関わるケースもあるため、慎重に対応しなければならない。また、近年、DV被害者が生活困窮者、精神疾患者であることが多く、市役所担当課との連携を密にしていくことが必要である。

整理番号	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課1	担当課2	担当課3	評価	平成29年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性 及び課題等
3-(4)-①8				I 民生児童委員・主任児童委員による子育て支援	社会福祉課			A	木津民児協では、主任児童委員が主体となり親子交流事業「たのしいひろば」を実施し、親子で楽しめる場、また保護者同士が交流できる場を提供している。各地域民児協では、乳児前期健康診査に際し、保護者に対して身近な相談相手である民生児童委員の活動について、周知・啓発を行っている。	2	引き続き民生児童委員活動を通じた子育て支援を行います。

整理番号	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課1	担当課2	担当課3	評価	平成29年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性 及び課題等
	基本目標4										
4-(1)-①1	親子の笑顔を支える仕事と生活の調和の推進	(1) 子育て支援サービスの充実	① 多様な地域子ども・子育て支援事業等の提供	待機児童の解消	こども宝課			A	国基準に遵守しながら保育定員の増員を図った。	2	民間保育所等と連携し待機児童解消に向けた取組みの継続
4-(1)-①2				一時預かり事業の推進	こども宝課			A	公立3園、民間6園で事業実施	2	引き続き実施する。
4-(1)-①3				病後児保育事業の推進	こども宝課			A	保育所等での周知の実施。	2	引き続き実施する。
4-(1)-①4				子育て短期支援事業(ショートステイ事業、トワイライトステイ事業)	こども宝課			A	保育所等での周知の実施。	2	引き続き実施する。
4-(1)-①5				ファミリー・サポート・センター事業	こども宝課			A	保育所等での周知の実施。	2	引き続き実施する。
4-(1)-①6				地域子育て支援拠点事業	こども宝課			A	保育所等での周知の実施。	2	引き続き実施する。
4-(1)-①7				放課後児童クラブ事業	こども宝課			A	保育所等での周知の実施。	2	引き続き実施する。
4-(1)-②1		(2) 保育事業の質の向上		保育所の定員の弾力化の縮小	こども宝課			A	国基準に基づく保育の実施	2	引き続き実施する。
4-(1)-②2				育児休業満了時から利用できるよう、保育所定員の確保等環境整備	こども宝課			A	復職に合わせ利用できるよう、計画的な申請を指導、助言	2	引き続き実施する。
4-(1)-②3				入所・入園手続きの簡素化	こども宝課			A	きょうだいで申請する際の添付書類の省略の実施	2	引き続き実施する。
4-(1)-②4				保護者の就労の有無にかかわらず、幼稚園及び保育所において、同レベルの質の高い教育・保育の提供体制の確保(再掲)	こども宝課			A	職員研修の実施等、幼保連携型認定こども園、保育所で質の高い教育・保育の提供体制の強化に努めた。	2	認定こども園で継続して質の高い教育・保育の実施
4-(1)-②4				保護者の就労の有無にかかわらず、幼稚園及び保育所において、同レベルの質の高い教育・保育の提供体制の確保(再掲)		学校教育課		A	認定こども園所管課と連携をとり、事務を進めた。	2	継続して取り組む。
4-(1)-②5				認定こども園の設置に向けた関係課との連携(再掲)	こども宝課			A	関係課との協議の実施	2	引き続き実施する。
4-(1)-②5				認定こども園の設置に向けた関係課との連携(再掲)		学校教育課		A	認定こども園所管課と連携をとり、事務を進めた。	2	継続して取り組む。

整理番号	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課1	担当課2	担当課3	評価	平成29年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性 及び課題等
4-(1)-②6	(2) 男女が協力し合う家庭づくり			① 保育所や幼稚園における苦情処理体制の確立	こども宝課			A	苦情対応についてのマニュアル化の実施	2	引き続き実施する。
4-(1)-②6				① 保育所や幼稚園における苦情処理体制の確立		学校教育課		A	各幼稚園と連携をとり、対応した。	2	今後も連絡を密にとり、連携をとって対応する。
4-(1)-②7				① 保育所や幼稚園、認定こども園の事業等に関する第三者評価の導入の検討	こども宝課			B	民間保育所において実施	2	公営保育所での導入検討
4-(1)-②7				① 保育所や幼稚園、認定こども園の事業等に関する第三者評価の導入の検討		学校教育課		C	未着手。	2	今後、導入に向け検討を図っていく。
4-(2)-①1		① 家庭の協力体制の確立	① 家庭における男女共同参画の推進		人権推進課			A	「男女共同参画週間」(6月23日～29日)事業として劇観賞会＆おしゃべり会(参加者27名)を実施した。「キラリさわやかフェスタ」(参加者1,050名)では、平成29年度は男女共同参画をテーマに講演会を実施。パネル展示も行った。また街頭啓発活動で、ポケットティッシュ等の啓発物品を配布した。	2	引き続き、同様の事業を実施する。
4-(2)-①2				① 保護者の学びの支援(子育て講座、男女共同子育て講座、父親教室等)(再掲)	人権推進課			A	親子クッキングは7組16名、男の料理教室は10名参加。ただし保護者に限定していない。	2	平成30年度も親子クッキング、男の料理教室を実施予定。
4-(2)-①2				① 保護者の学びの支援(子育て講座、男女共同子育て講座、父親教室等)(再掲)		こども宝課		A	各保育所での人権講座の実施。父親の保育参加を促す取組みの実施。	2	引き続き実施する。
4-(3)-①1		③ 仕事と生活の調和の推進	① 子育て支援の職場環境づくりの推進	① 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)についての啓発	人権推進課			A	平成29年度はワーク・ライフ・バランスについての講演会等は行っていない。国や京都府が作成したワーク・ライフ・バランスのチラシなどを配架し、啓発を行っている。	2	講演会のテーマは毎年違うため、男女共同参画講座やチラシの配架などで啓発していく。

整理番号	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課1	担当課2	担当課3	評価	平成29年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性 及び課題等
4-(3)-①2				残業時間の削減等法律や制度などについて、事業所や労働者に対する周知	人権推進課			A	人権推進課では、男女共同参画講座等の中で労働関連の問題に触れており、また、京都府からの広報チラシを窓口に配置等することにより周知をおこなっている。	2	人権推進課では、男女共同参画講座などの事業において、また、広報チラシ等により啓発していく。
4-(3)-①3				子育て支援に取り組んでいる企業等の情報提供	人権推進課			A	子育て支援に取り組んでいる企業の情報ではないが、再就職支援、保育環境の整え方などの情報提供が受けられるマザーズジョブカフェのパンフレットを配架している。	2	引き続き、継続していく。
4-(3)-②1			② 生涯学習やボランティア活動の促進	生涯学習情報の提供	社会教育課			A	生涯学習情報誌、ホームページを活用した生涯学習情報の提供を行った。	2	生涯学習情報誌の発行、内容見直しを検討する。
4-(3)-②2				生涯学習講座の開催(場合により、子育て支援付き講座等)	社会教育課			A	公民館講座27講座、市民講座6講座、生涯学習講座21講座、体験講座1講座を開催。	2	託児付き講座の開催など市民ニーズにあった講座の開催など市民が参加しやすい講座を検討する。

整理番号	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課1	担当課2	担当課3	評価	平成29年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性 及び課題等
4-(3)-②3				①ボランティア情報の提供	社会福祉課			A	社会福祉協議会を通じ、ボランティアの募集及び育成を実施し、ボランティアガイド、チラシの作成のほか社協広報「きずな」のボランティアコーナーにて情報提供している。また、4年に1回、ボランティアフェスティバルを実施し、ボランティアグループの舞台発表や活動のパネル展示を行う。 (社協主催) 平成29年度実績 11/3~4 ボランティアグループ活動パネル展 協力グループ12、参加者300名	2	引き続き多くの市民の方に知つてもらえるようボランティア情報の発信を積極的に行っていただく。
4-(3)-②4				②ボランティア講座の開催	社会福祉課			A	市民向けにボランティアのことを知つてもらうための各ボランティアグループの活動発表と体験講座、災害ボランティアに関する講習会を実施した。 (社協主催) 平成29年度実績 6/30 ボランティアグループ研修会 参加者51名 9/30市民ボランティア入門講座 参加者34名	2	引き続き多くの市民の方に参加していただけるように定期的な講座の開催を実施していただく。

整理番号	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課1	担当課2	担当課3	評価	平成29年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性 及び課題等
	基本目標5										
5-(1)-①1	子どもと子育てを支援する地域づくり	(1) 子育ち・子育てを支える地域づくりの向上	① 地域の子育て力	子どもを社会で育てることの意義などの啓発	こども宝課	社会福祉課		A	5月号広報で児童福祉週間の啓発	2	継続します。
5-(1)-②				町内会や自治会における行事等の活性化の促進	総務課			A	行政地域の自立と積極的なコミュニティ活動を支援するために地域活動交付金の交付をおこなった。 32行政地域 13,2155,728円	3	行政地域の自立と積極的なコミュニティ活動を支援するため、引き続き交付金を交付するが、世帯数を基本として交付金のため、世帯あたりの交付金額の見直しが必要。
5-(1)-③				地域福祉活動による子育て支援の推進	社会福祉課			A	民生児童委員と連携し、子育て家庭への支援に努めるとともに、社会福祉協議会を通じ子育てサロン等の活動支援を行っている。	2	引き続き連携を図り、支援の強化に努める。
5-(1)-④				学校支援地域本部による取組みの推進	社会教育課			A	学校の要望に応じて、地域コーディネータを中心に行方支援を行つた。	2	今後も継続して実施する。
5-(1)-⑤				老人クラブ活動等地域団体による子育て支援活動の促進	高齢介護課			A	○世代間交流事業に参加することにより、もちつきやかるたとり、百人一首、本の読み聞かせなど昔遊びを通して、子どもの見守り活動や地域支え合い活動の推進を図った。 木津:1月20日 100名 加茂:1月、2月 100名	2	今後も次世代を担う子ども達との相互交流を昔遊びや集いの場を通してより一層深め、子どもの見守り活動や地域支え合い活動を促進する。

整理番号	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課1	担当課2	担当課3	評価	平成29年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性 及び課題等
5-(2)-①1	(2) 子育て交流の促進	(2) 子育て交流の促進	① 子育て交流機会の提供	I 地域子育て支援拠点事業の推進(再掲)	社会福祉課			A	社会福祉協議会を通じ子育て支援の拠点となる子育てサロン及びおもちゃの図書館活動などの交流活動に助成を行う。	2	今後も子育て支援の拠点となる活動に対して適切な助成を行います。
5-(2)-①1				I 地域子育て支援拠点事業の推進(再掲)							
5-(2)-①2				I 市社会福祉協議会等による子育てサークルの育成と活動支援	社会福祉課			D	取り組みは終了している。	4	社協が主催の子育てサロンサークル交流会等の活動も盛況に行われており市としての育成と活動支援は終了する。
5-(3)-①1			(3) 子育てネットワークづくり	① 子育て支援ネットワークの構築	学校教育課			A	幼稚園等において、未就園児対象の行事等を開催し、就園前の保護者の交流を支援した。	2	ネットワークづくりの支援を推進する。
5-(3)-①1				I 保護者のネットワークづくりの支援							
5-(3)-①2				I 要保護児童対策地域協議会や児童相談所等との連携強化	こども宝課			A	常に細やかな報告・連絡・相談の実施	2	継続

整理番号	基本目標	施策の方向	主な事業	事業の内容	担当課1	担当課2	担当課3	評価	平成29年度実績 (取組内容)	評価	今後の方向性 及び課題等
5-(3)-①3				① 関係機関や地域団体、NPO法人やボランティア団体など、地域全体の子育て支援ネットワークの形成	社会福祉課			A	社協主催の子育てネットワーク連絡会(5/17, 参加者20名)では、子育て支援関係団体がそれぞれの事業について報告や今後必要と思われる取り組みについて話し合い、協力し合えることの情報交換を行う。また、最新の子育てに関する知識や、疑問に思う事の勉強会(9/25, 56名)を実施し、より良い支援に繋げる。	2	今後も様々な団体がネットワークに参加していただけるように、取り組みを続けていただく。
5-(3)-①3				① 関係機関や地域団体、NPO法人やボランティア団体など、地域全体の子育て支援ネットワークの形成		こども宝課		A	社会福祉協議会等と連携し実施	2	継続